

どんな？
こんな！

レファレンス

R 資料

なかなか手に取りにくい“調べもの”のための
資料＝通称“R(レファレンス)資料”
ここではレファレンスのスペシャリストが
とっておきの資料を皆様にご紹介します



知らない昭和がいっぱい！！

『昭和史全記録 1926-1989』

毎日新聞社

1989 R210.7

昭和は、1926年12月25日、クリスマスの改元から始まりました。「大正」から改元された元号は「**光文**」と枢密院が決めましたが、東京日日新聞が正式発表前にスクープしようとしたため、不謹

慎のそしりを免れないと「昭和」に切り換えられたそうです。波乱万丈な昭和の幕開けに相応しい出来事だと感じる方も多いのではないのでしょうか。

この本は、月ごとのクロニクル（出来事を時系列順に記録）形式により、その時代の生活実感までも想像させるよう構成されています。また「昭和初期の広告」「映画ポスター」「オリンピック」などのカラーページもあり、鮮やかな記憶がよみがえります。貸出用もあるのでじっくり昭和に浸ってみては！？

シリーズ 郷土資料

発見！私たちの郷土

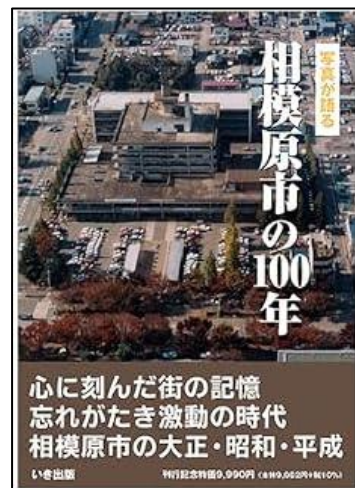
この100年で相模原市の景色は大きく変わりました。

変化の始まりは戦後の軍施設建設でした。道路などの都市施設整備の必要性から、相模原市は、首都圏整備法による市街地開発区域第一号の指定を受け、それを機に、住宅建設、工場・事業所進出が増加し、人口が急増しました。

市は、あらゆる部門の対応に追われ、ひっ迫する厳しい財政事情の中で、地域の特色を生かした街づくりに力を注ぎました。

この本を制作するにあたり、忘れがたい激動の時代の、生活感あふれる街の風景を後世に伝えていきたいと、昭和初期から平成初期までの写真の提供を市民に呼び掛けたところ、200人以上の方々からたくさんの貴重な写真が寄せられました。その中から厳選された600枚の写真によって、この本は完成しました。

開発によって失われた風景にも思いを馳せながら、相模原市の発展と、活気あふれる市民の生活がうかがえる貴重な一冊です。



『写真が語る 相模原市の100年』

いき出版

2024 K1-29

後世に相模原の歴史を伝える